



5月の月間目標




じぶんからあいさつをしよう！

朝、出会った人に笑顔で元気にあいさつされ、気持ちよく一日を過ごせそうな気持ちになったことはありませんか。あいさつは、お互いの心の扉を開き、笑顔を作る魔法の言葉なのです。まだあまり話をしたことがない人にも、少し勇気を出して、自分から元気にあいさつしてみれば、きっと相手も笑顔であいさつを返してくれるでしょう。

まずは家庭で、あいさつをする習慣をつけましょう。子どもは、いつ、どんなふうにあいさつをしたら良いかを身近な大人の行動を見て覚えます。子どもたちにとって、新しい出会いが多いこの時期、希望に満ちて新しい世界を広げていけるように、家庭であいさつの大切さ、素晴らしさについて話してあげてください。



「おはよう」「おやすみ」「いってらっしゃい」「いってきます」と家族で声をかけ合うことで、家族のコミュニケーションが増えます。

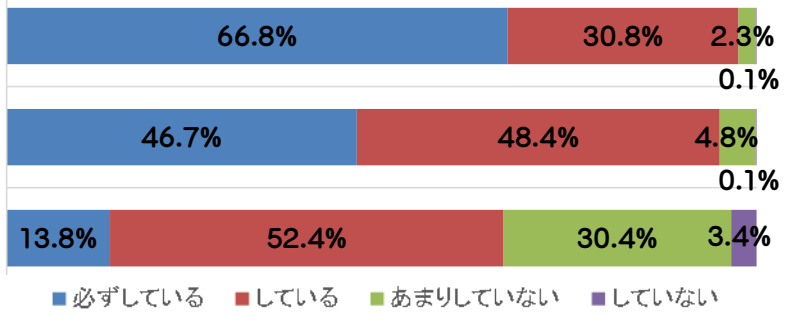


あいさつをすると・・・

「ありがとう」を言うことで、子どもは人の好意に感謝する気持ちを育み、「ごめんなさい」を言うことで、素直な心を育みます。

地域の人に「こんにちは」「さようなら」とあいさつすることで、地域の人とのつながりができます。つながりができれば、子どもを見守ってくれる人が多くなります。

(子どもは)「おはよう」「おやすみ」のあいさつをしていますか。
 (保護者は) 家族以外の人にも進んであいさつをさせている。
 (子どもは) 家族以外の人にも進んであいさつをしていますか。



上のグラフは、平成30年度「元気なならっ子約束運動」の7月保護者アンケート結果です。多くの保護者が、あいさつの大切さを子どもに伝えていることが分かります。

しかし、子どもが、家族以外の人にも進んであいさつをしているのは、約66%となっています。様々な理由で、家族以外の人にあいさつをするのは難しい部分もありますが、地域の人などに保護者があいさつをする姿を見せ、「あいさつは人間関係をつくる第一歩」であることを子どもに伝えたいものです。



毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日 (いきいきサントー)」です

奈良県立教育研究所



(令和元年5月) 家庭教育Web ページ